

令和7年度第2回野洲市入札監視委員会 会議結果（要旨）

日 時	令和7年12月23日（火） 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	野洲市役所 本館2階 庁議室
出席者	委員：野洲委員長、中村委員、中辻委員 事務局：川尻総務部長、山本総務課長、川端課長補佐、松本主査
傍聴者	なし
報道機関	なし

令和7年度上半期（4月1日から9月30日）までの対象期間案件について会議次第に基づき、以下の内容にて会議を開催した。

1. 開会

総務部長あいさつ

2. 議題

(1) 入札及び契約手続の運用状況等の審議について

(ア) 令和7年度上半期に発注した建設工事及び建設関連業務委託について

事務局	（令和7年4月1日から令和7年9月30日までに発注した予定価格200万円超えの建設工事及び予定価格100万円超えの建設関連業務委託について、資料に基づき事務局から概要説明）
委員	※特に意見なし

(イ) 令和7年度上半期における入札参加停止等の措置案件について

事務局	(令和7年4月1日から令和7年9月30日までに野洲市建設工事等入札参加停止基準に基づき1者指名停止したことを概要説明)
委員	契約未締結に伴う指名停止により、当該業務について改めて入札を行っていますが、当初の入札よりも指名業者数が増加している理由は何ですか。
事務局	当初の入札において指名業者10者に対し応札業者3者と少なく、入札状況を考慮し、候補の中から範囲を広げて指名したものです。
委員	当初入札の指名業者に2度目の落札業者である(株)日本インシークは含まれていましたか。
事務局	当初指名業者には(株)日本インシークは含まれておりません。
委員	業務上必要とする有資格技術者は参加資格要件ではなく、特記仕様書に記載しているということですね。
事務局	ご認識の通りです。業者が特記仕様書に記載していた内容を十分に読み取っておらず、落札後に契約を締結しない旨の申し出がありました。
委員	具体的にはどのような資格者が必要だったのですか。
事務局	道路詳細設計において、ドローン等を活用し空間情報把握に長けた者を希望していたため、その条件に該当する有資格者を指定しています。

(ウ) 指定案件の審議について

工事 1 野洲市民病院整備事業（医療ガス設備工事）

事務局	(資料に基づき、概要説明)
委員	工事規模に対して応札者数が少ない様に感じますが、入札参加者数の想定は。
事務局	近畿2府4県における管工事に係る総合評定値800点以上の業者が69社、その中から工事实績を踏まえると7社程度の候補がありました。参加想定業者の中には落札業者であり、現病院の施工および保守管理を行う㈱セントラルユニも含まれていました。
委員	同業種の候補者が極めて少ない中、医療ガス設備施工後の維持管理や更新において、随意契約となり競争性が確保されない懸念があるように思いますが、事務局の見解を伺います。
事務局	事務局としましては、基本的に工事内容や予定価格に応じて一般競争入札、指名競争入札による方法を検討する方針です。

工事 30・31 富波乙地区配水管布設替工事（1工区）に伴う舗装復旧工事

事務局	(資料に基づき、概要説明)
委員	入札中止理由を伺います。
事務局	予定価格1億円未満の指名競争入札は予定価格を事前公開としておりますが、誤った予定価格を公開していたことが判明し、入札中止となったものです。
委員	最低制限価格付近での失格者が多数出ている理由は把握されていますか。

事務局	舗装工事は工事内容から比較的積算しやすいものと認識しています。そのため、失格者は出ていますが最低制限価格に近い水準での応札が多かったのではないかと推察しています。
-----	---

工事 34・35 蓮池の里第二処分場浸出水処理施設長寿命化工事

事務局	(資料に基づき、概要説明)
委員	入札中止理由を伺います。
事務局	本件は随意契約であり、本来事後公表である予定価格を事前公開したためです。
委員	同種の工事はこれまでもクボタ環境エンジニアリング(株)との随意契約で行っているのですか。
事務局	ご認識の通りです。
委員	保守点検を行っている業者も同社だと思いますが、点検内容から長寿命化工事を実施しているのですか。
事務局	処分場の長寿命化工事については、担当課である野洲クリーンセンターが策定している「蓮池の里第2処分場長寿命化計画」に基づき発注しています。原課策定であるため計画内容を全て把握しているわけではありませんが、設備の耐用年数やメーカーからの聞き取りも考慮していると考えられ、当初計画に基づき起工を行っていると考えております。

委託 10 南桜水源地更新工事（電気・機械設備）監理業務委託

事務局	（資料に基づき、概要説明）
委員	落札業者以外の応札が全て予定価格を上回るという結果になっていますが、事務局の見解を伺います。
事務局	入札結果を踏まえ原課にヒアリングを実施しましたが、設計内容が特殊な内容はないとの事でした。
委員	一定積算内容は推察しやすいと考えますが、予定価格を上回る応札が多いのは応札業者に落札する意向がなかったという見方もできますが。
事務局	本件は工期が 23 か月であり、技術者の拘束期間が長期となることがネックとなった可能性はあります。

委託 16 野洲市雨水公共下水道事業認可業務委託

事務局	（資料に基づき、概要説明）
委員	本件は落札率が 60%と低く、落札業者以外は予定価格を超える水準となっています。野洲市における最低制限価格の制度上やむを得ない部分もありますが、予定価格の 8 割程度を設定している自治体もあり、落札業者が必要な利益水準を確保できているのかが気になります。
事務局	近隣市町では公契連モデルを採用していることから、ご指摘の通り予定価格の 6 割から 8 割程度の設定となっています。 最低制限価格については、過去の入札監視委員会でもご意見いただいておりますが、当市の制度は事務局としても課題であると考えておりますが、財政負担等もあるため、今後慎重に検討を進めてまいります。

委員	落札業者が最低制限価格と同額の応札となっており違和感があります。
事務局	本件についても入札結果を踏まえ原課にヒアリングを実施しております。令和6年度に本業務の関連業務として野洲市公共下水道雨水管理方針策定業務を発注しており、その業務を落札したのが(株)エイト日本技術開発 滋賀営業所となっています。基礎となるデータ等を同社が保有していたこともあり、比較的低価格での応札になった要因であると推察しています。

【以上の審議結果】

適切に処理されていると判断できる。

次回の会議については、令和8年6月頃を予定しています。次回の指定案件の選定は野洲委員にさせていただきます。

3. 閉会

以上